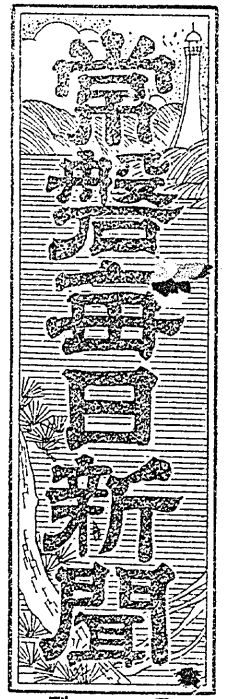


夕刊 日一月五



定価一紙五銭五分
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

(大衆文藝)
 蜘蛛失戀譚

本津 茂太郎

朝ははやく起き出してあたりが黄昏れかゝる頃まで黒い土ともにも働らかねばならないのであつた。汗にまみれ日に焼けた桐助の顔であつた。
 或る日は彼は野良へ出て耕やしてゐた。彼の手はともすると鈍るのだ。何故鈍るのだらうか。それは幻想に襲はれるからであつた。
 野の空にお伊那の顔や姿が現れたかと思ふと魅力たつぷりに笑つて消えた。
 「お伊那さん！」
 かう彼は叫ぶのであつた。しかし何の反響も返つては來なかつた。
 彼は鎮守の森のお祭の日偶然にもお伊那と言葉を交へた上に、艶然たる笑ひを浴びせ掛けられた。美しいなあと彼の心は讚嘆したのであつた。
 お伊那は桐助の村につひ近い頃流れ込んで來た兵學塾を開いてゐる築田兼齋と云ふ者の文字通りの一粒種であつた。
 妖婦的な美貌の乙女であつた。桐助がその純朴な心魂を吸ひ取られて了つたの

は無理ではない。
 「お伊那さん！ 俺らア」
 すると、田の中の路を歩いて來た人が驚いた様に立止つてじろくくと桐助の顔を覗き込んだ。ふつと其れに氣がつくと桐助は眞赤になつてしまつた。
 二
 春の夜であつた
 さびしいが然し艶つぽい夜であつた。
 桐助はぼんやり爐邊にすはつてゐた。此頃の彼はお伊那の事ばかり思つてゐた。お伊那と云ふあの女がどうして此んなに戀しいんだらう。けれどどうして戀しいかは彼にも一寸判らなかつた。
 そだぐる／＼燃えてゐる。……
 夜鶯の鳴く聲がかすかに此處まで聞えて來る。
 桐助はフツと溜息をもらした。又もお伊那が眼前にチラついて見えて來た。にっこり笑つて云つたものだ
 「桐助さん！」
 しかし今一度桐助は溜息を吐いた。
 「お伊那ちゃんよ、俺ア」
 すると隣の部屋の中から母親の聲が聞えて來た。
 「何んだい、桐助お前今何か云つたかえ」
 「お母ア、俺あ何んとも云やアしねえよ、大方お前の

聞き違えだらうよ。それに
 お母ア今夜は馬鹿に靜かな晩ぢやアねえか」
 「靜かな晩だよ」
 それから桐助は立ち上つた。そして背戸の方へ草履を穿いてこつそりと出て行つた。この小廣い家に人と云へば彼と母親だけであつた。父親は三年前に風邪がもとで死んで了つた。遠い國へ嫁に行つてゐる姉だけが唯一人の身内であつた。彼はひとりで暗い闇の中に出て行つた。
 背戸には大きな栗の樹があつて、桐助はその下から廣々とした四圍を見て考へてゐた。
 空にはおぼろな月があつた。夢のやうに霞んでゐた。彼はじつと空を見やつた。哀愁が彼の心に流れて來た。突然彼は飛び退つた。彼の顔色は死人の顔色になつて行つた。
 蜘蛛！
 其處には生來大厭ひな蜘蛛がぶらりと下つてゐたのだ。
 しかもそれは女郎蜘蛛！
 彼は急いで家へ駆け込んだ。爐邊にすはると彼の手足はふる／＼と顫へ出した。
 「桐助やどうおしだいふるへておじやるが……」
 母が出て來たがかう聞いた。

◎御家庭薬として是非御用意下さい
 熱い火や湯でヤケドなされた時直ぐツケますればヒブクレンにならずなほります
 キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。
 キリ印 ヤケド キリキズ
 クサド はだのアレ
 シモヤケ たざれ
 太乙膏 専賣店
 平町古鍛冶町一〇
阿康薬舗
 電話四四番

新型洋品豊富

ツッター	85
アンダー	30
中折帽	95
ベレータ	25
靴制エ	30
メリヤ	10
パンツ	65
ズボン	20
シャツ	20
スリッパ	60
ソックス	1.25

運動にはクロネコのランパンツ

平町二丁目【電話六〇五番】
山家メリヤス店

是非！
 御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平四・電六〇六番

難 波 院

内科一般

醫學博士 難波 陸

平町大町新川端
 電話五〇二

聘招員社給有

三井生命保險株式會社

東京市日本橋區室町三井第二號館
 駐在地 福島縣内ニシテ本人ノ希望地

◇外務社員 拾名
 ◇監督社員 三名

▼平出張所
 福島縣平町鍛冶町二九【電五〇三】

全外科 醫學博士 渡部 義夫
 小兒科 女 醫 渡部 きい子
 内科

入院應需 **渡部外科**

平町田町大通り【電話二七七番】

喜多流謠曲と仕舞の
 お稽古をお剛め致します

平町町九六
 喜多流 謠曲 舞白土會
 電話一二七番

警報来る!

明日郡下一圓に

季節外れの大量

小名濱測候所より入電

今日午前九時半小名濱測候所より『明朝郡下一圓に大量あり』との警報が郡農會に到來有城郡農會では直ちに管下各町村農會に急報を發しそれ〴〵應急手配し適切な對策を講ずる様命じたがこれにつき郡農會米山技手は語る

本郡で現在丁度桑が發芽したばかりであつて春蠶の掃立もこの十二、三日頃から開始されるので實

に憂慮してゐます、昭和五年にも今頃に大量が襲來して山の手方面が激甚だ被害を蒙つた事がありました、桑園の對策としては附近に散水をし又松葉などで燻煙することが大切で、又本郡では苗代に播種したばかりの模様ですから急遽水を引くやうにせねばなりません云々

鯉漁場を

目指して

愈よ磐城丸が

本格的に活動

鯉漁期の展開に備へ久しく小名濱港に滞在中であつた縣指導船磐城丸は本日午後出港したが鹽屋崎東二百哩の漁場に於ける浮遊調査を行ひ採取した海水並に浮遊物等を水揚げの爲め四日朝歸港し五日再び出帆いよ〴〵八丈島以南の鯉漁目として本格的な漁獲指導の第

郡下青年

昨日評議員

昨報郡下聯合青年團の評議員會は昨日午前十時より警中講堂に開會、豫算、決

兵營訓練延期 既報 平商業學校四年生の仙臺工兵二大隊に於ける三泊四日間の軍事訓練は軍隊の都合で六月に延期された

監督所員總出動で

けふ道路愛護宣傳

自動車に分乗バラ撒布

本日の道路愛護デーに際し平土木監督所では所員總出動で數臺の自動車に分乗して郡下一圓に亘つて道路愛護の宣傳ビラを散布しつゝ、大いに道路愛護の普及宣傳を行つた

戸數割賦課

資料募集に決定

平町では本年度戸數割賦課のため目下係員十四名總動員で賦課資料蒐集及び申告に關する事務の調査を行つてゐる

控除申請

一割増加

平町の戸數割控除申請は昨年比一割増加を豫想されてゐる

三大炭礦庭球戰

榮冠獲得を目指して精進

磐炭入山古河の三大炭礦庭球部のリーグ戰は例年豪華戦として地方ファンの血を沸かしてゐるが今年春のリーグ戰は大體一、二十七日頃から開始されることにな

小名漁業總會 小名濱町漁業組合では来る三日午前十時から同組合事務所樓上で總會を開き豫算決算を附議役員改選を行ふと

第三校職員會 平第三小學校では明日午後二時から職員會を開き學校經營案につき協議する

房總方面視察 植田町農事實行組合長始め總代一行三十五名は農事視察の爲め来る四月より三日間の豫定で本縣房總方面へ出張すると

産馬智識の向上に

流産の状態を調査

石城郡産馬畜産組合は福島縣下に於いて馬匹の頭數では白河に次ぎ第二位にあるが組合員間に馬匹に關する知識程度が低い爲め流産弊死等飼育上に遺憾の点多く折角の産馬郡の名に恥ぢるので同組合では一日馬匹種類の稱呼、馬匹の特徴、その他の注意事項を記載したパンフレットを全組合員に配布して知識の普及向上を計り、尙流産の際の前後の状態に就き組合員に詳細なる調査を命じその回答を參考資料とするこ

練習機、錦村海岸へ不時着

栃木縣へ向ふ途中方向を誤つて

千葉縣日本輕飛行機俱樂部所屬ハブト式百二十馬力練習機操縦者久田壽夫(三)は本日同縣津田沼より栃木縣太田原へ向ふ途中方向を誤り午後零時半頃錦村中田地内海岸に不時着陸したが操縦者も機体も無事であつた

平稅務借敗す 第四

回平稅務署對相馬稅務署の卓球大會は二十九日午前十時から相馬稅務署樓上で舉行五對四で平署惜敗した

平町人 事

回 死 亡
△舊城跡二二 馬上市太郎 氏母くめさん(五九)

院醫科齒村中

七町冶銀町平

鈴木科醫院

平町 田町 電話五八番

宗正らひた

美味! 芳醇!

山崎合名會社 電話一〇番

鐵道自殺を圖り

死に切れぬ女房

血みどろで海に投身の刹那

運轉手が救ふ

小名濱町九井自動車店運轉手土田頼次(三)助手井上吉次(三)の兩名は去る廿九日午前二時頃茨城縣松原町地内常磐線踏切を通過せんとした際茨城縣稻敷郡阿見村森島万太郎妻君子(三)が離

保護者會の當日

併せて學藝會を

平町の三小學校合同で

平町保護者會總會は来る十五日午前十時より第二小學校講堂に開かれるので本日午後一時より同校に委員の打合せを開き提出事項を協議するが總會當日は三小學校兒童の學藝會をも併せて催す由

雄辯大會

人賞者

別項郡下青年團評議員會終了後午後二時より磐中講堂に第三回郡下青年團雄辯大會が開かれ入賞者は(一)等)内郷新重雄(二)等)磐崎皆川繁松(三)等)夏井青木徳寧(三)等)と決定したが出演者並に演題左の如くである

子供を...

置き去り

不貞の妻

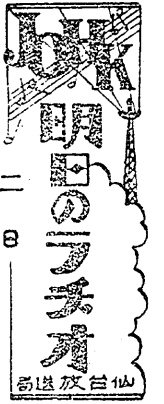
箕輪村高野農高野吉松(三)の妻ひさ子(三)は十七日午前十時頃二男成治を連れて好問村の實家に歸宅したが實家に子供を置いたまゝ行方不明となつたので大騒ぎとなり八方搜索した處箕輪村銅目木の高萩依宣(三)と手に手を取つて樺太へ墮落した事判明したので夫吉松は平署に搜索願出た

居寝り自動車

電柱に衝突してヘシ折る

横着料十五圓也

双葉郡岡町鈴木自動車店方運轉手高木孝島郎(三)は昨年十二月トラックを運轉し茨城縣多賀郡豊浦町宇川尻地内を居眠した儘運轉した爲め電柱に衝突し折損したが届出なかつた爲め自動車取締の違反として本日平區裁判所に於いて料料十五圓に處された



今晩も明日も北西の風天氣良し

今晚の部

後六、〇〇少年講談「偉大なる馬鹿」三浦樂堂
後六、二五漢文講座(七)菅谷軍次郎
後七、三〇講演「ドイツ國民勞動祭日に際して」セルベルト・フォン・デイルクセン大使

赤十字少年團

平第一小學校五年生二百一名は新たに赤十字社の少年團に入團する爲め明日午後一時より同校講堂で入團式を行ひ篠山校長より訓話がある

磐炭慰安映畫

磐城では昨日午後七時から淺野記念會館で従業員慰安映畫會を開いた

内郷第二遠足

内郷第二小學校では今日春季遠足を催した

磐炭健康保体

磐城炭健康保体組合では来る二十日高坂グラウンドに於て組合員の運動會を催すと

裁判所たより

△飯野村大字中山字桑谷八

明日
前六、三〇基礎英語講座
前七、二〇聖典講義「般若心經講義」(二)高神覺昇
前九、一〇料無敵立端午の節句料理 小林忠雄
前一〇、三〇家庭メモ
前一〇、三五講演「乳幼児保護施設に就て」宮城縣學務部長 清水谷徹
後一〇、〇五滿洲より
後一〇、五〇野球試合實況 東京大學豫備日神宮より 中繼

農渡邊一郎(三)は昭和五年十二月より本年二月迄に無免許で湯本町大木キヨ(三)外十四名を酌婦女中又は年期奉公等千葉縣方面に周旋した爲め略式命令により罰金六十圓
△四倉町新町漁業鈴木幸平(三)は自己所有船四十八社丸が昨年十二月岩手縣縣仙町沖合の禁漁区域内で底曳網漁業を行はしめたので同略式により罰金七十圓
△小名濱町宇舟引場菓子商原秀次(三)は本年二月十二日秤秤の錘系が切斷したのを修理し検定を受けずして使用せる爲め度量衡違反として罰金十圓
△勿來町宇出藏二十六日本炭礦坑夫鈴木定行(三)は本年二月廿一日泥酔して歸宅の途中同宇内坑夫長家太田長吉方妻イキの許に侵入と見されて逃走し住居侵入として略式命令により罰金廿圓に本日夫々平區裁判所に於いて處分された

平町大掃除日變更

五日は御節句奉祝の爲め

既報平町の春季衛生掃除は五、六兩日執行の筈であつたが五日は皇太子殿下初御節句に當る爲め奉祝の意を表し當日執行の分を七日に繰延べることになつた、尙ほ六日に當る田町、二丁目には當日東北帝大教授山川醫院、東京市衛生課長酒井醫院の兩氏來平して常磐銀行樓上に於いて講演會を開くので同じく七日に繰延る

市原醫院

平職業紹介所報告
回人を求める方
△自動車助手 十六、七才 位 高卒 月三圓位
△柏ベ夫 二十 三十才位
電話一四番 平町 田町

近斬首頭

(續前上段及上段)

田邊南龍(作)
山本英春(筆)

—二〇—

非人を斬つて
權八が傍へ寄つて見ると
白河夜舟高軒で寝てゐる
『コレ、非人起きろ、』

ムクと起き上つた乞食が
『オヤ之はお旦那様、非人
めに何か御用でございます
か、お餘りでも下さいませ
ので』

『ウム只今廊から戻り道だ
が、餅菓子を残りを遣はさ
うと存じて起したので』

と、途中で買つて来た餅
菓子十個ばかりを出してや
ると、乞食は大きに喜んで
『へーお有難う存じます
棚から牡丹餅といふのは此
の事、結構なお饅頭、お有
難う存じます』

『どうぢや非人貴様達の目
から見たら、我等などは暑
くなく寒くなく又飢くなく
暮し、偶には女郎の一夜買
ひもして、不自由なく暮し
てゐる位、大名のやうに思
ふであらうが、夫れでさへ
馴染の女郎を寝かれたりな
どして、あゝ儘ならぬ浮世
だと、寧ろ一思ひに死んで
しまはうと思ふ事さへある
ましてや貴様達は、夏は炎
火に照らされ冬は風雪の中
り、三百六十五日飢しい苦
しい思ひをしてゐるが定

し死にたいと思ふ事もある
であらうの』
『左様でございます、お旦那
様の仰せの通り、此の苦し
みを致さうよりは、寧ろ一



みとあれば、何も功德ぢや
一思ひに殺してやらう、夫
へ直れ』
と、腰なる村正の柄に手
を掛けた吃驚したのは彼の
乞食
『ト、飛んでもない事を
仰しやいます、左様な御冗
談はお止めなすつて下さい
まし、旦那の仰しやる通り
夏冬ともに苦しい飢しい思
ひをして、人様のお餘りを
頂いてをりますものと詰り

思ひに斬られてなりと死に
たいと思ひますが、定めし
斬られると痛うございませ
うな』

『イヤ、斬り人にも依り
刀に依るが、拙者如き腕前
勝れし者が、名刀を以て斬
る時は少しも痛いの苦しい
のといふ事はない其事が望

『黙れ黙れ、非人の分際と
して武士に偽りを申す憎い
奴、最早容赦はならぬ覺悟
をしろ』
『わッ、人殺しッ』
と逃げやうとする奴を、
抜き打ちにバツサリ斬つて
落し
『アハ、之にて少しは氣
が晴れた』
と血を拭いて、バツチリ
鞘に納め夫より中圓の方を
差しと來ると三人の非人が
面桶の枕を並べて四邊構は
ぬ高話

『二人兄弟同様にしてい
るお主達の事ゆゑ一ツ今
日は、俺様の身の上話をし
て聞かせやうかな』
『其奴は面白からう、お主
が話した其の後で、俺も身
の上話をし聞かせやう』
『二人が話すといふのなら
此の俺だつて隠しはしねえ
サア、兄貴、お前から話
をしろ』
『オツと少し待て、何處の
旦那か知らねえが、綺麗な
お武家様が立つてお在にな
る、満らねえことを云つて
お耳障りになるといけねえ
少しの間待つてゐろ』

はいのちが惜い故乞食、非
人、虫けらとて、總て生あ
るものは、いのちの惜くな
い者がございませうか、死
んで花實が咲きますものが
ない、左様なお戯れはお止
めなすつて下さいまし』
權八ハツタと非人を睨ん

お醬油は ヤマフル

醤油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社

福島縣平町(電話營業部二階工場七)
明治生命館代理店 山崎與三郎

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

小店員數名募集
年齢十五才ヨリ
優遇ス
御望希ノ方ハ午後一時
ヨリ本人御來談下さい
平町町七一
レストランサロン
電話三五二番

外科 X光線科 性病科 外科科

平町 田町

安齊外科醫院

電話四七五番

吸入用酸素純度 99%

度量 摩ノサシ
ハカリ ス
寒暖計

關内藥局

電話四〇番

旭硝子株式會社製品 板ガラス

製造賣販
硝子 壺
硝子 食器
其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電五九七番)